

2018年 北米大陸最高峰 デナリ(6,194m) 公募登山隊 募集要項



デナリ山頂

企画・運営



株式会社アドベンチャーガイドズ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-5-4山和ビル3階

Tel: 03-5215-2155 Fax: 03-3288-3211

2018年「デナリ公募登山隊」

この登山隊は「北米大陸最高峰 デナリ峰(6,194m)」
の登頂を目的とした公募形式の登山隊です。

北米大陸最高峰のデナリは、アラスカ州に位置するため極地に近く、標高も6000mを越えるため、夏でも気温が -20°C 以下になることもある過酷な自然環境です。また、登山エリアが氷河上のため、一般の登山者には難しく、体力・技術・豊富な経験等を持ち合わせた、登山のエキスパートのみに許される領域です。

しかしながら「海外遠征経験の豊富な山岳ガイドのサポート」により、一般の登山者にも登頂が可能なタクティクスを作ることが出来ます。この隊は、参加者自身の技量だけでは登頂が難しい一般の登山愛好家を中心に、山岳ガイドが登頂のために必要な技術、経験の足りない部分をサポートしながら登頂を目指す公募隊です。



「デナリ」

北米大陸最高峰、標高6,194m、アラスカ州に位置する。2015年8月まではマッキンリーと呼ばれていましたが、現在は元々の先住民の呼称であったデナリが正式名称となっています。

周囲を含め国立公園に指定されており、アラスカの大自然が残っているエリアです。大地にどっしり腰を落ち着けて聳え立つ姿はあまりにも雄大で印象的な姿です。ベースとなる町はタルキートナで、ここからベースキャンプまでのアプローチに雪上セスナを利用します。登山ルートは一貫して雪上を歩く登山になり、登山技術としては、ピッケル・アイゼンワークの基本ができれば問題ないレベルです。最大のポイントは -20°C 近くまで下がることもある気温と高所対策です。

「日本人が企画・運営する公募登山隊のメリット」

現在、アメリカの会社を中心に世界各国でデナリ公募登山隊が募集されています。この公募登山隊は国際隊で、参加者の中心は欧米諸国の登山者となり、隊の公用語は英語です。近年、日本人にもこの欧米の公募登山隊に参加する方を見受けます。

しかし、言葉や文化の違い、そして体格差による基礎体力の違いなどから、うまくこれらの登山隊に馴染む事ができず良い結果が得られない方もいるようです。AGの公募登山隊は、このような問題がないよう、食事、ペース配分等、日本人参加者に合わせるのとは無難なこと、登山成功の大きなポイントであるストレス解消や登山意欲の維持がうまくできるように日本語できめ細かくサポートします。隊員も自分の要望を細かいニュアンスまで伝えることができるので、ストレスがたまりづらい快適な環境での登山活動になります。



「公募登山隊参加費用」

* 公募登山隊は6名参加の場合。

5/18(金)～6/8(金) 22日間 ￥1,450,000.

「公募登山隊参加費用に含まれるもの」

登山申請手続、現地移動用(雪上セスナ タルキートナ～ベースキャンプ)、現地キャンプ費用、登山中の食事、現地山岳ガイド同行費用、日本人スタッフ登山同行費用、テント・登攀用具等共同装備費用

「参加費用に含まれないもの」(主なものを例示します)

入山料、レスキュー費用、国立公園入園料 US\$380.(一人あたり) * 現地にてお支払い下さい。
現地ガイドへのチップ(登頂成功した場合US\$200前後)、個人的に利用した衛星電話等通信費、自由行動中の費用、早く下山した場合や天候等で下山が遅れるなど予定通り行動出来なかった場合に新たに発生するホテル・航空券の費用、規定以上の個人装備運搬費用、その他個人的諸経費

上記公募登山隊に参加するためのツアー

5/17(木)～6/10(日) 25日間 旅行費用 ￥255,000.

旅行企画実施 株式会社アドベンチャーガイズ 観光庁長官登録旅行業1713号

「旅行費用に含まれるもの」

東京～アンカレッジ間の往復航空券、アンカレッジ・タルキートナのホテル宿泊費用(日程表に明記された3泊分)、アンカレッジ～タルキートナ移動費用、日本人スタッフ同行費用

* 別途お渡しする、旅行条件書、旅行約款を必ずご確認ください。

「公募登山隊＋ツアー合計参加費用 ￥1,705,000.」

* 上記は2018年2月1日の諸条件で設定しております。

急激な為替レートの変動などで、諸条件が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

「今回の公募登山隊の運営」

国立公園内に位置するデナリは、ライセンスを持たない山岳ガイドが営利目的で活動することができないエリアです。

日本人では、ライセンスを有するものが一人もいないため、一般的には日本ではツアーが設定されておりません。

AG公募登山隊は、ガイドライセンスを有する「アラスカ・マウンテンアリング・スクール」主催の公募登山隊を特別にAG隊としてアレンジする形で運営いたします。

日本の山岳ガイドライセンスを有するスタッフが同行しサポートすると共に、事前に日本人の特徴や志向を現地スタッフと話し合い、万全のサポート体制が取れるよう手配しております。

なお、基本的にはAG独自で登山活動を行います。フライトやベースキャンプの施設等、キャパシティに十分な余裕が無いため制約が多く、他の公募登山隊のメンバーと同一行動を取る場合もございます。予めご理解ください。

この場合には同行する日本人ツアーリーダーが、他の公募登山隊と交渉しお互いの行動が上手く行くようサポート致します。



マッキンリー山頂



荷揚げイメージ

《デナリ公募登山隊 25日間》

NO	月 日	都 市 名	時間間	交通機関	摘 要	食事
1	05月17日 (木)	東 京 発 アメリカ内都市 アンカレッジ着 タルキートナ	午 後 午 前 午 後 夕 刻	航空便 航空便 送迎車	空路、アメリカの都市を経由してアンカレッジへ。到着後、迎えの車でタルキートナへ向かいます。 【タルキートナ泊】	機食 機食
2	05月18日 (金)	タルキートナ	滞 在		タルキートナで登山の準備です。 【タルキートナ泊】	
3) 22	05月19日 (土) 06月07日 (木)	マッキンリー登山			タルキートナ→(セスナ)→BC (2,227m) フライト予備日 BC→C1 (荷上げ)→BC BC→C1 (2,410m) C1→C2 (荷上げ)→C1 C1→C2 (3,050m) C2→C3 (荷上げ)→C2 C2→C3 (3,508m) C3→C4 (荷上げ)→C3 C3→C4 (4,331m) C4 C4→C5 (荷上げ)→C4 C4 C4→C5 (5,246m) C5 C5→山頂(6,194m)→C4 C4→C2 C2→BC 登山調整日 登山調整日	
23	06月08日 (金)	BCキートナ タルキートナ アンカレッジ	午 後 夜	送迎車	セスナでBCからタルキートナへ戻ります。その後、送迎車でアンカレッジへ戻ります。 【アンカレッジ泊】	
24	06月09日 (土)	アンカレッジ発 アメリカ内都市	朝 午 後	航空機 航空機	早朝の航空機でアメリカの都市で乗り継ぎ、帰国の途へ。 【機中泊】	機食 機食
25	06月10日 (日)	東 京 着	午 後		東京到着後、解散です。	

※天候等の事由により日程、宿泊先が予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

※航空便の都合により、日程が前後する場合がございます。

注意事項（お申込み前に必ずお読み下さい）

1. 旅行主催と公募登山隊主催

この企画は日本～タルキートナ間の移動とタルキートナ滞在部分のみを(株)アドベンチャーガイズ(観光庁長官登録旅行業1713号)が主催する旅行に参加し、タルキートナ滞在時にアラスカマウンテンアリングスクール社(アメリカ)が主催し(株)アドベンチャーガイズがサポートする公募登山隊に参加して頂く形として運営します。

2. 現地公募登山隊の運営に関して

弊社提携のアラスカマウンテンアリングスクール(アメリカ)のオペレーションのもと、公募登山隊を運営します。天候や地域事情で、現地までのフライト、ベースキャンプの施設等他の登山隊と共有する場合がございます。この場合でも返金等はございませんので、予めご了承ください。

3. 参加の技術、体力レベル

参加に際しての標準的な技術、体力レベルの目安は下記のようになります。

- * 基本的なアイゼン・ピッケルワークができる。
- * 雪上を含む基本的なテント生活経験がある。
- * 国内で1日標高差1000m以上を登り降りができる
- * 3泊4日以上長期山行の経験がある。
- * スノーシューとソリを使い荷上げができる。
- * ソリを使い20kg前後の荷物を荷上げできる。
- * 基礎的な高所順応の知識があり、5000m以上の高所経験がある。

4. 天候等のための日程変更について

この地方は極地に近いため天候が安定しないことがあり、雪上セснаなど予定が組みにくい土地がらです。日程には余裕を持ってありますが、悪天候のためタルキートナへの到着が遅れることもあります。また、順調に登山が行われた場合は早く戻ってくる可能性もあります。このため、この公募登山隊でのタルキートナのホテルは日程表の日程のみ手配することとし、日程変更のために発生したホテル費用は参加者の負担となり、現地でお支払頂きます。また、予め帰国変更可能な航空券を手配しておりますが、長期の日程変更に伴い変更可能な有効期限が切れてしまい新たな航空券の手配が発生した場合も参加者の負担となります。予めご了承ください。

5. 日本人ツアーリーダー・登山ガイドに関して

日本人ツアーリーダーが公募登山隊の進行を管理します。ツアーリーダーには海外遠征の経験豊富な者を選任します。また、現地山岳ガイドとしてデナリでの登山経験が豊富な山岳ガイドを選任し、日本人ツアーリーダーと共に登山活動をサポートします。現地ガイドは原則的に日本語は話せませんので英語での会話となりますが、登山中の重要な事項は日本人ツアーリーダーが通訳しますので言葉の不安はほとんどございません。

6. 登山中の判断に関して

ルート、日程調整、パーティー編成、登山中止等、登山中の判断は現地山岳ガイド、日本人ツアーリーダーが参加者の安全を第一に考え行ないます。この決定には必ず従って頂きます。

7. 登山中止に関して

日本人ツアーリーダーと現地山岳ガイドは参加者の安全を第一に考えながら登山活動を行います。天候、ルート状況、参加者の体調によってはやむを得ず登山活動の全部または一部を中止する場合があります。また、これらの決定は現地山岳ガイドと日本人ツアーリーダーが行い、いかなる事由があろうと必ず従って頂きます。また登山が中止された場合いかなる事由でも参加費用の変更、返金はありませんので、予めご了承ください。

以下に登山を中止する事由を例示します。

- * 悪天候で登山が不可能な場合。
- * ルートの状況により登山が不可能な場合。
- * 天候、天災、政治的事由等で出発前に登山が困難と判断された場合。
- * 交通機関、宿泊施設、装備運搬等で支障がでた場合。
- * 参加者の登山技術が未熟で登山活動の継続が出来ないと判断された場合(安全に登山を継続する事ができないと判断された時点で下山を開始します。)
- * 登高ペースが遅い場合
(予定時刻までに余裕をもって安全地帯に下山するにはペースが遅いと判断された段階で下山を開始します。)
- * 登山装備に支障があった場合。
(装備に支障があった場合、その参加者の登山を中止します。装備表を良くご覧になり準備して下さい。新しいアイゼン等は事前に寒いところで実際に装着して装着可能か確認して下さい。装備について不明な点がありましたらお問い合わせ下さい。また、現地では個人装備の貸与は一切致しませんので、予めご了承ください。)

8. キャンプに関して

上部キャンプへの装備の荷上げ、キャンプの設営は原則的に隊員自身が行います。(ソリ、スノーシュー等を使って荷上げします。)日本人リーダーと現地ガイドは円滑に荷上げ、設営が上手できるようにサポートします。

9. 緊急時の対策

この登山隊で訪れる地域は、一般的には秘境、辺境と呼ばれる地域です。可能な限り日本人スタッフと現地山岳ガイド、現地スタッフが無線機等での連絡方法を確保し、緊急時に備えますが物資設備、輸送機関に制約があり必ずしも十分な救助体制が確立できない場合もございます。参加者はその点を十分に理解した上、無理のない行動、安全な登山を心がけて下さい。また、隊員は主催者が指定する内容の山岳保険に加入することが公募登山隊への参加条件となりますので、予めご了承下さい。

10. 申込み

申込書と申込金を添えてお申込み下さい。
申込金: ¥500,000.

11. 提出書類

下記の書類を出発4ヶ月前までにご提出下さい

1. 山岳保険申込書(同等の保険に加入済みの場合はその証券等のコピー)
2. 山歴書
3. 参加に際する約定書
4. 健康診断書
5. その他、渡航手続きの書類

12. 参加取消

下記の参加取消料をお支払い頂く事によって参加を取り消すことができます。

【旅行参加費用】

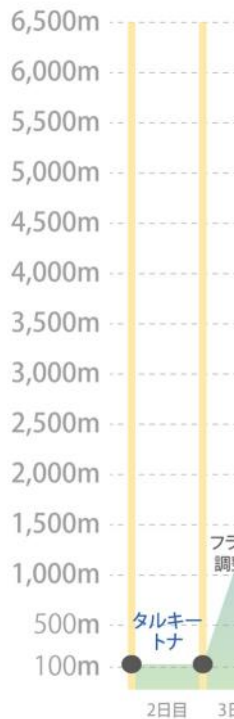
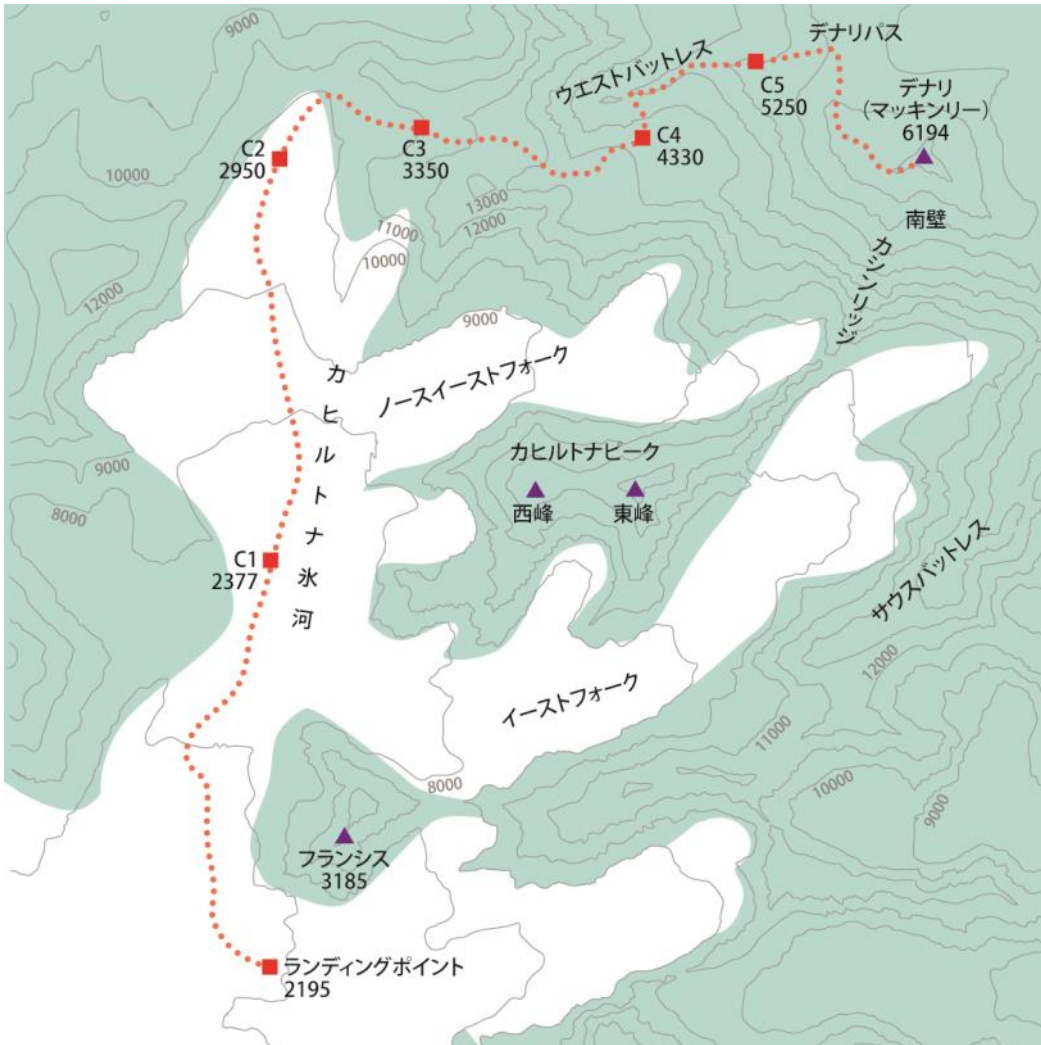
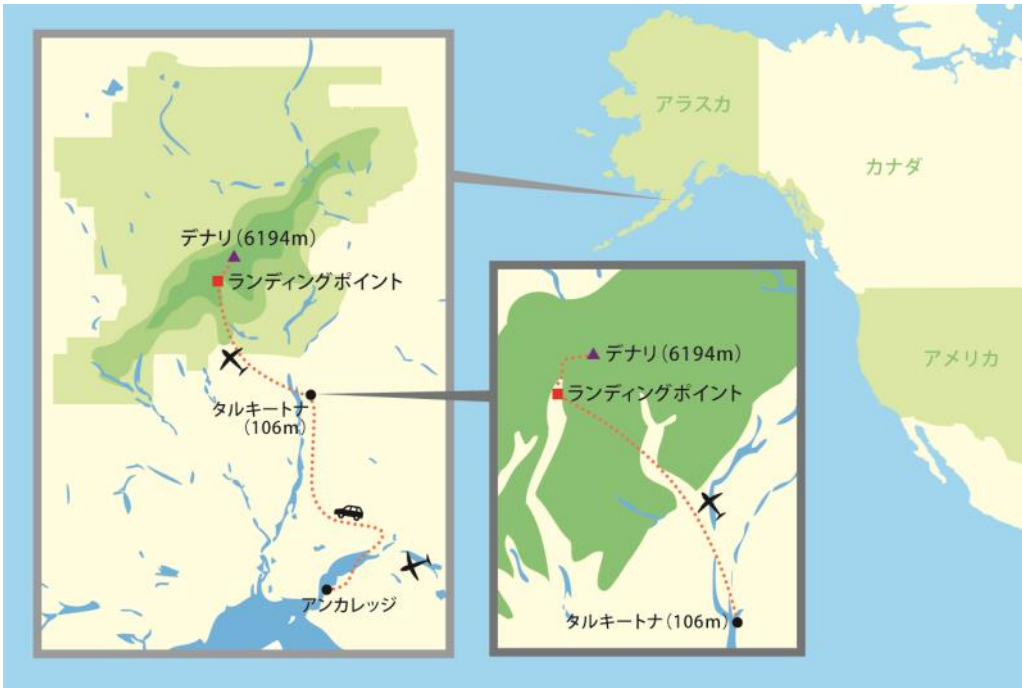
旅行出発日の30日前～3日前	旅行費用の20%
旅行出発日の前々日～当日	旅行費用の50%
無連絡不参加、出発後	旅行費用の100%

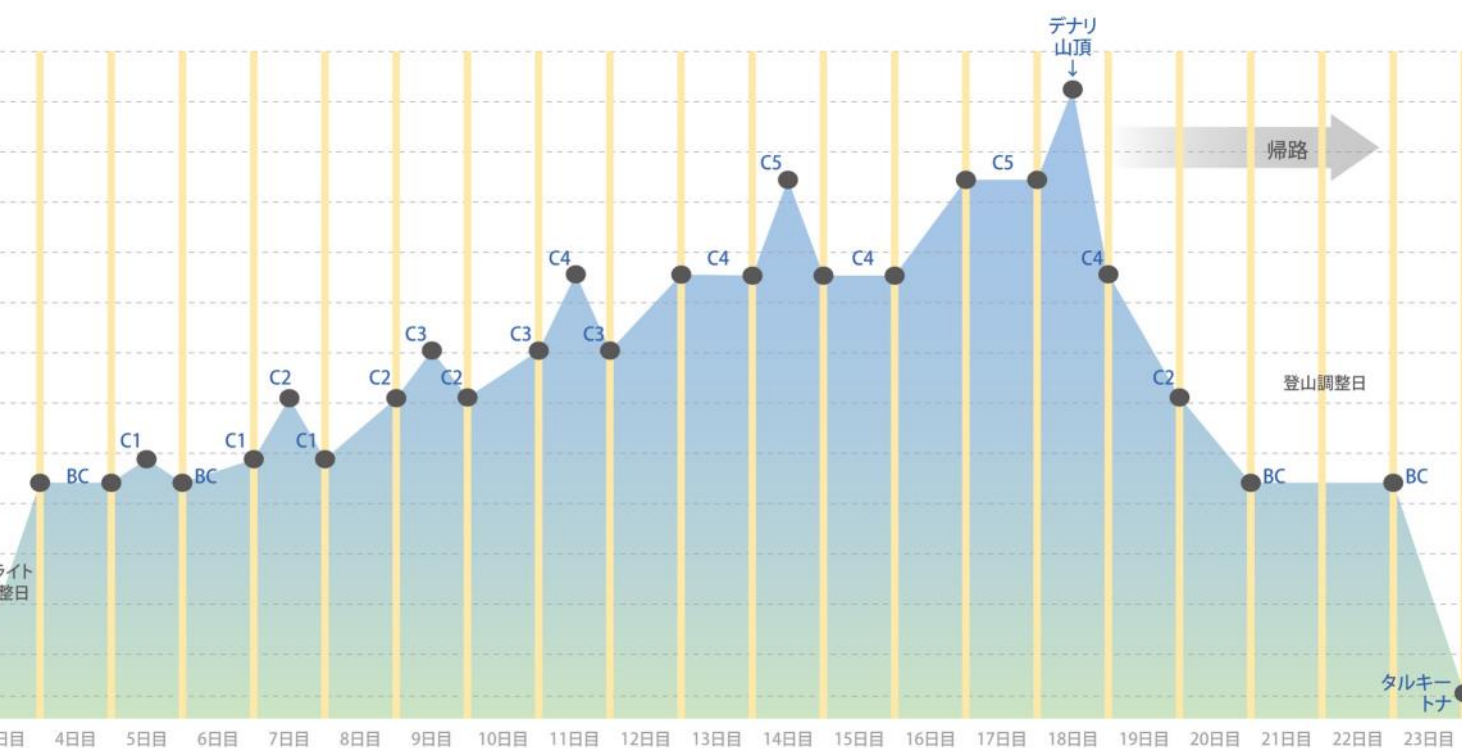
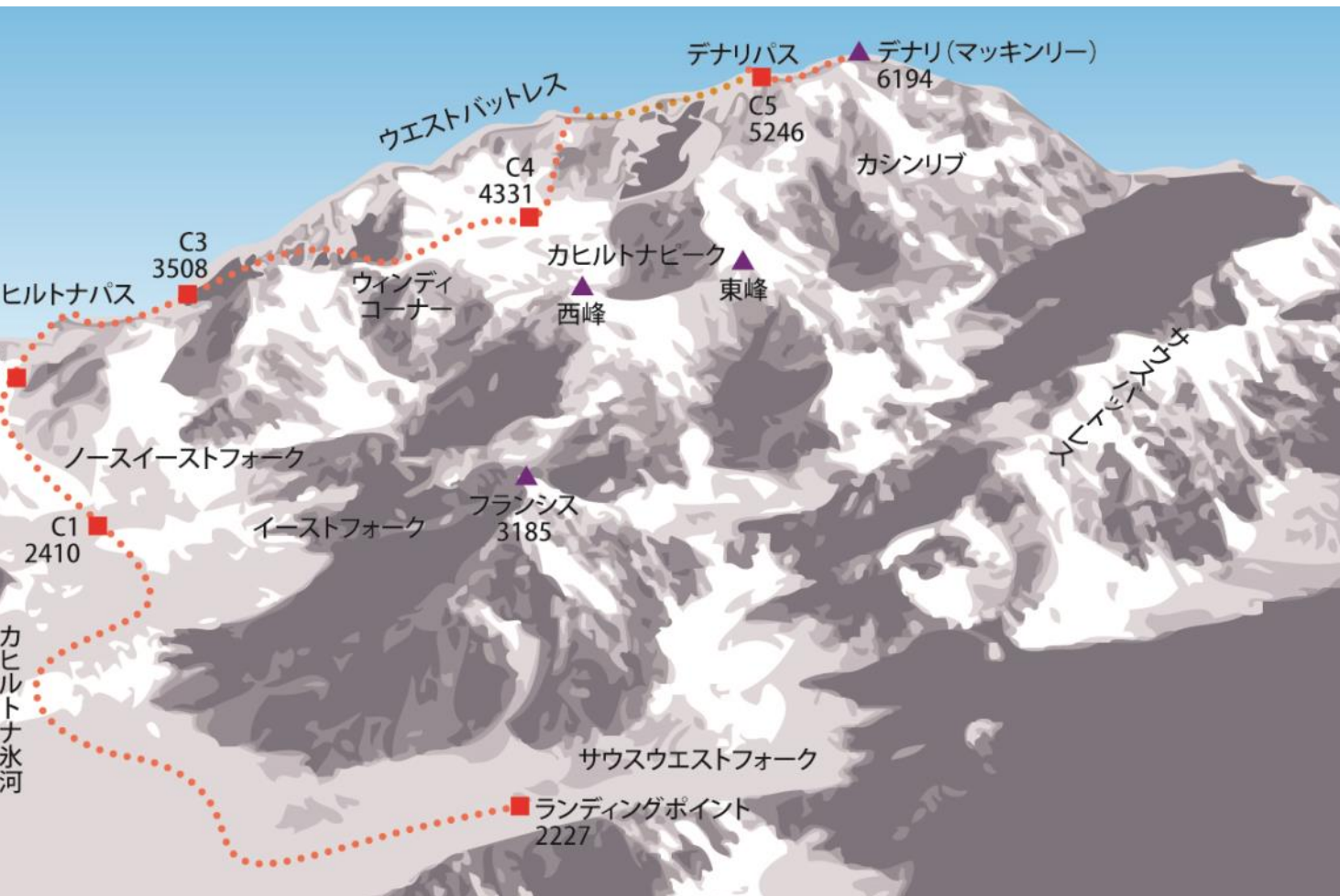
【公募登山隊参加費用】

申込日～公募隊開始日121日前	参加費用の20%
出発日120日前以降	参加費用の100%

* 公募登山隊主催会社にへ120日前に全額支払ます。

デナリ登山ルート 概念図





《マッキンリー参考装備表》

※この装備表は、アラスカマウンテンアングルス社の英文装備表を元に作成した参考装備表です。絶対的なものではありませんので、下記のリストを参考にご自身に合った装備をご用意下さい。ご不明な点はお気軽にアドベンチャーガイズまでご相談下さい。

【靴・足元】

エクスペディションブーツ	エクスペディションブーツはダブルのもので、インナーブーツともに質のよいもの。裏地は時間とともに圧縮されて断熱性が低下するので、新しいものを。裏地は高所では膨張するのでそれを考慮してブーツのサイズを選ぶこと。サイズがきつすぎるもの、分厚いくつ下は避推奨：コフラック・アークティス・エクスペディション、スポルティバ・オリンパス、スカルパ・ファントム8000、6000、ミレー・エベレスト、ヌブツェ、スパンティーク
オーバーブーツ	完全に断熱されるもの。(オーバーブーツ一体型のエクスペディションブーツの場合は不要) 推奨：40BelowK2 オーバーブーツ、アウトドア・リサーチ・ブルックス・レンジャーズ、モンベル ※レンタル可、現地購入可
アイゼン	強度と耐久性を考え、アルミではなく鉄製がよい。前ベルト・後バックルタイプの方がよい。推奨：シャルレ・モザー・スーパー12・ラピッドフィックス・ラニエール、グリベルG12・ニューマティック、ブラックダイヤモンド・セイバートゥース
スパッツ	(オーバーブーツ一体型のエクスペディションブーツの場合は不要)
ウールのくつ下	厚手のウールまたは合成繊維のくつ下3組(ウールの方があたたかい)。インナーソックスの上(またはパイル織)に履きます。重ね履きする場合には、登山靴、インナー、足とぴったり合うかを確認。常に清潔で乾燥した状態にしておくこと。古くなるとクッション性を失うので、定期的に新しいものを購入することも重要です。むこう脛の部分にパッドが入っているものは特にプラスチックブーツと相性がよい。 推奨：ブリッジデイル、ソルロ、スマートウール、パタゴニア
ライナーくつ下 (汗対策として)	ツルツルした薄手のウール、ナイロン、またはキャブリーンのもの、3組。素肌に直接触れることを考えて素材を選ぶ。これを履くことで、水ぶくれとやけどの発生率をおさえ、外側に履いたくつ下を履き替える頻度を減らすことにもなります。厚手のくつ下と重ね履きして、足にぴったりフィットするもの。また、防湿剤入りの靴下もあります。
テントシューズ (ロングタイプ)	ポーラガードがおすすめ。「グループⅢブーティーズ」(マウンテンギアのウェブサイトから購入できる。 http://www.mountaingear.com)「ヘリテージ ゴアウインドストッパー」もお勧め。 推奨：マウンテンイクイップメント、ヘリテージ、パイネ、ヴァランドレ、モンベル
スノーシュー	自分の持つザックの重さに適したものを購入して下さい。シンプルに、軽くしておくこと。 推奨：MSR ライトニングアッセント ※レンタル可

【ウェア・衣類】

下着	上下2セット。素材はキャブリーン、その他の合成繊維、またはウール。綿はダメ。軽いものの方が用途が広く望ましい(暖かい時は1枚で、寒い時は重ね着して使える)。ハーフジップ付きのものが、温度調節できておすすめ。できれば明るい色(白)と濃い色のを1つずつ。氷河上で日差しが強烈な時には白いものの方がよいが、濃いものの方が早く乾くので。 推奨：ノースフェイス・マイクロナミックス、マーモット・ドライクライム、パタゴニア・キャブリーン、アイスブレイカー
厚手の下着	(女性の方は上記の他に)パタゴニア・キャピリタ・トランクス、シャカ・ブラ、ワコール遠征用の厚手のもの1組。キャブリーンのエクスペディション・ウエイト。代替として、ワンピース型(つなぎ)のもの。 推奨：フェザー・フレンズ・ハスキー・スーツ、アウトドア・リサーチ・サターン・スーツ
フリースジャケット	ポーラテック200~300。プルオーバータイプより、下までファスナーになっている物の方が脱ぎ着しやすく、温度の調節もしやすい。 推奨：ノースフェイス、アウトドア・リサーチ、パタゴニア、マムート、ミレー
フリースのパンツ	ポーラテック200~300。行動中に脱ぎ着や温度調節が便利なもの。 推奨：ノースフェイス、アウトドア・リサーチ、パタゴニア
ゴアテックスの上下	アウターとして。ジャケットはフード付きで、前面の上から下までと、脇の下にファスナーがあるもの。サイズはタイトなものよりゆったりしたものの方がよい。ズボンも横に上から下までファスナーのあるもの。 推奨：ノースフェイス、パタゴニア、マムート、ミレー、ホグロフス、コロンビア

ダウンのパーカー	<p>エクスペディション・ウエイトで、完全な調節機能があるもの。保温性のある羽毛のフードが付いていて、丈が腰の下までくるもの。</p> <p>推奨：ノースフェイス・バルトロ、マウンテンハードウェア・アブソルート・ゼロ、マーモット8000m、フェザード・フレンズ・ロック&アイス</p>
ダウンのズボン	<p>断熱素材が何層かになっているもの。外側は、防風性と防水性を備えた素材であること。行動中に脱ぎ着や温度調節が必要になるので、ズボンの横が上までファスナーになっているサイドジッパータイプがお勧め。</p> <p>推奨：ノースフェイス・バルトロ、フェザー・フレンズ・ヘリオス、ヴァランドレ</p>
合成繊維の手袋	<p>2組。フリース素材などで、オーバー手袋の内側で快適にフィットするもの。厚手のフリースの方が、軽いポリプロピレンやキャブリーンよりも、濡れた時、手を暖かく保てる。</p> <p>推奨：ノースフェイス、パタゴニア、アウトドアリサーチ</p>
シェルグローブ	<p>必要な方のみ。軽くて薄手の手袋は、標高の低い所を行動している時や、キャンプ地で作業をする時に、フリース手袋の上にはめると便利。</p> <p>推奨：アウトドアリサーチ・サンタアナまたは同等のもの。</p>
オーバー手袋	<p>1組。ゴアテックス素材で2重織りの裏地が付いているもの。内側にはめる手袋や裏地にぴったり合うよう、充分な大きさのものにすること。</p> <p>推奨：アウトドアリサーチ・プロモジュラーミット、ブラックダイヤモンド、ヘリテージ</p>

【頭・首用の装備】

サングラス	<p>氷河からの反射があるのでサイドカバー付きを選ぶ。紫外線・赤外線を100%カットし、レンズは登山用にデザインされた高品質のものを選ぶ。首からかける紐と鼻のカバーが付いているものがおすすめ。レンズは光透過率8%以下であること。</p> <p>コンタクトレンズを使用している人は予備のメガネがあるとよい。メガネに薄い色が入っていて光に敏感なタイプであれば、緊急用のサングラスとしても使える。</p> <p>メガネを使用している人は、度入りの氷河用サングラス(グレイまたは琥珀色の)を作るとよい。入手方法は眼科医に相談して下さい。一般的なサングラスでは色の暗さが足りない上に、横からの太陽光を防ぐことができません。度入りの氷河用サングラスを作るには、オプティカス www.opticus.com にご連絡下さい。</p>
鼻ガード	サングラスに付いているもの。推奨：チャムズ・メラノ（自作も可能です。ご相談ください）
スキー用のゴーグル	1組。濃い色で紫外線・赤外線を100%カットするもの。スワンスのファン付きはおすすめ。メガネを着用している方は、メガネの上から着用できる大きさのものを。
ヘルメット	登山用の軽量なもの
スキー用の帽子	パイル織りまたはウール製で、耳が隠れるもの。
ニット帽	厚手のものと薄手のものを1つずつ。薄手のものの上に厚手のものをかぶって、きちんとフィットすること。
目出帽	呼吸のしやすいタイプのもの。天候に合わせて、ニット帽と併用して使用できるもの。
帽子	野球帽等。日差し除けに。目と鼻が陰になるようひさしのあるタイプ。早く乾く合成繊維がよい。
バンダナ等	首を日差しから守るため。伸縮性があるものは便利。推奨：バフ

【登山用具】

ピッケル	<p>紐を付けること。長さは重要です。身長170cm以下の人は60cm、170～185cmの人は65cm、185cm以上の人は70cmのもの。長すぎるよりは短い方がよい。グリップがゴムのは重く、雪に突き刺しづらいため避ける。紐は、氷河上での使用を想定して作られたもの。</p> <p>推奨：SMCヒマラヤン、ブラックダイヤモンド・アークライト、グリベル・パミール、キャンプ</p>
ハーネス	<p>アルパインクライミング用。ウェア、装備を着けた状態で体にフィットし、太ももまわりの太さに合わせて調節できるもの。試しに付けて吊られてみて、まあまあの快適性のあるもの。ハーネスは、そのどの部分からでも、一歩も歩くことなく装着できるようにして下さい。</p> <p>推奨：ブラックダイヤモンド・ポッドハーネス、キャンプ・コーラル、マムート</p>
カラビナ	安全環付きカラビナ4コ、通常の変形D環型のカラビナ6コ（安全環付きカラビナは、大、小各2コ）
アッセンダー	右か左、どちらか1つ。ペツルがおすすめ。フィックス通過での利用は、同じくペツルのパルディゴ・カラビナ(パネ式のオートロックカラビナ)とセットを使用することをお勧めします。

ブルージックロープ	ブルージック専用のエーデルワイス製7mmものを12m、または、氷河上で使えるようにブルージックを作っておく。その他、テープスリング数本(120cm以上のもの2~3本)も便利。 ※現地に配布される予定ですが、お持ちであればご持参ください。
伸縮ストック	スキー用またはトレッキング用。3段伸縮のものが最も用途が広い。 ※スノーバケット要 推奨：レキ、ライフリンク、ブラックダイヤモンド
アバランチ・ビーコン	雪崩対策に必要。電池の残量を必ず確認しておいてください。
【キャンプ用品】	
ザック (75ℓ以上)	シンプルで軽いもの。重くなるので、不要なファスナーや、それに類するものの無いもの。
寝袋	マイナス40℃まで耐えられる遠征用品質のもの。かさばるのと重さの面で、合成繊維よりグースの羽毛の方がよい。足の先まですっぽり覆う、十分な長さのあるもの。ゆったりサイズだと快適に寝られるが、ある程度ぴったりしている方が暖かい空気を保持するにはよい。シュラフカバーも必要。 推奨：ノースフェイス・インフェルノ、フェザード・フレンズ・スノーグース、マーモット
マットレス	4分の3またはフルサイズの、保温性のあるもの。身長が182cm以上の人はフルサイズのものがおすすめ。調節バルブと修理用キットも。ウレタンマットレスと重ねて使用。 推奨：カスケードデザインズ・サーマレスト・ガイド・ライト・モデル
ウレタンマットレス	身長をカバーする長さのもの。銀マットなど。マットレス(エアマット等)と重ねて使用。 推奨：カスケードデザインズ・リッジレスト
食器	カップ:450ccくらいの大きさのプラスチック製(またはステンレスの軽量のもの)で保温性があること。パチンとはめるフタが付いていると、中のものが冷めにくく、テント生活でもこほしにくい。
スプーン	プラスチック製。品質がよく、丈夫なもの。お箸も可。
ボウル	プラスチック製で深さのあるもの。容量は400-600ccくらいでフタ付き。食器と併用でも可。
日焼け止め	SPF40またはそれ以上。小さいものを2個くらい。日焼け止めは、6ヶ月以上たつとSPF値が半分に落ちるので、新しいものを用意すること。 推奨：ダーマトーン、アロエゲイター
リップクリーム	SPF40またはそれ以上のものを、少なくとも2本。新品を。 推奨：ダーマトーン ※現地購入可
水筒	水用の水筒。少なくとも2リットルの容量が必要。1リットルものを2つと、500mlの口が広いタイプものを1つ持っているのがおすすめ。保温ケースも有効。
トイレ用のボトル	おしっこを入れるもの。1リットル分くらいで、口の広いもの。しるしを付けて水筒の水筒とはっきり見分けがつくようにしておくこと。スポーツドリンクの入れ物や、ナルゲンボトルなども可。
トイレ用じょうご	(女性のみ)うまく使えるよう、練習しておきましょう。医療用のものでも可。 推奨：フレシエット ※現地購入可
ナイフ	小型のスイスアーミーナイフ。シンプルで軽いもの。ナイフの部分とねじ回し(スクリュードライバー)の部分を使います。 推奨：スイスアーミー・スーパーティンカー
カイロ	つま先、手袋の中に入るタイプのものもお勧め
ライター	ターボライターは高所でも使用可能
医薬品	個人用の小さなバック。鎮痛剤、風邪薬、防水のバンソウコウ、テーピングテープ、常備薬。
カメラ	インスタントカメラか、使い捨てカメラをおすすめします。デジタルカメラもOK(保温カバーに入れて保管する)。
ゴミ圧縮袋	4枚。ザックの中で装備を乾燥した状態に保つため。1枚はザックの内側全体をカバーするくらい大きいものを。丈夫なビニール製がよい。
旅行用衣類	登山の前後にアンカレッジやタルキートナで着るもの。
洗面用具	基本的なものを。歯ブラシ、歯磨き粉、ウェットティッシュ+トイレトペーパー2ロール。
圧縮バック	必要な方のみ。荷物のかさばりをおさえる。特に寝袋や衣類に。
ダッフルバッグ (100ℓ以上)	カギのかかるもの。登山用の装備を運ぶためのもの。アンカレッジやタルキートナでは車で運び、登山中はソリに載せて運びます。 ※現地購入可



パークレンジャーオフィスにてブリーフィング



スレッド(橇)をひきながら荷上げをします



ランディングポイント



大量の食料と装備を運びます



荷上げの日々が続きます



テントは防風のためにウォールをつくります



一日中明るいマッキンリー登山



ウェストバットレスへのフィックスの登り

山頂への行動はかなりの寒さとなります



特別なコンティニアスの技術を使って行動します



ウェストバットレスのリッジでの行動



クレバスと雪庇に気をつけ、山頂までリッジを辿る



日中は暑く、日が傾くと寒くなり寒暖の差が激しい



マッキンリー山頂。狭い雪のピークです

